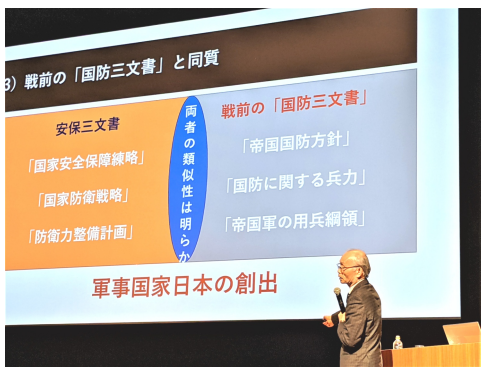


日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

大軍拡やめ平和の準備を 日本国憲法 暮らしに生かそう メーデー 憲法集会 にぎやかに



スライドを使って講演する額縁(こうけつ)氏

5月3日「憲法記念日」に、島根県民会館中ホールで「憲法9条は世界の宝・メイクピースの集い」が開かれました。この集いは30団体、108人の個人の協力で「憲法改悪反対! 5・3実行委員会」が主催、300人が参加しました。実行委員会を代表して岡崎由美子弁護士が「平和憲法が危機を迎えようとしているとき、どう対処すべきか考える」と題して講演しました。

憲法9条こそ平和な世界を作る原点 憲法記念日メイクピースの集い開催

額縁(こうけつ)厚・山口大学名誉教授は『「安保三文書」批判と「命の安全保障」政策の提言——戦争できる国から、戦争する国への転換を阻むために——と題して記念講演を行いました。額縁氏は、野党統一候補として2019年参院選に山口選挙区で立候補しています。講演では、「安保三文書では中国などを仮想敵国とし、アメリカを指揮官に戦前の『大本営』を作ろうとしている」「中身も決まらずに軍事予算を拡大するのは財政民主主義にも反している」等問題点を明らかにし、「平和憲法の原点、他国を信頼し、非戦・非武装を世界に訴えること」「行きつく先が戦争ではなく平和の道」と訴えました。参加者からは「私たちのやるべきことが分かった」などの感想が語られました。集会終了後、参加者は、会場周辺をパレードし「憲法9条を守ろう」「戦争しない世界をめざそう」と市民や観光客に訴えました。



挨拶する村上—県中央メーデー実行委員長

しまね労連などが主催する「第94回島根県中央メーデー」が1日、松江市内で開催され、オンライン参加を含めて約120人が集いました。

生活と権利、平和と民主主義まもれ 第94回島根県中央メーデー開催

村上(まこと)実行委員長は「岸田政権がやるべきは大軍拡・大増税ではなく、平和憲法に基づく外交努力と核兵器廃絶だ」と強調し、声を上げて行動していこうと呼びかけました。

参加団体によるアピールグッズ紹介の後、安保関連法の廃止を求める島根大学人の会、関耕平さん、島根県商工団体連合会諸遊克巳会長、原発ゼロをめざす島根の会山崎泰子共同代表、日本共産党島根県委員会より尾村利成県議が特別アピールを行いました。



特別アピールで訴える党県議団と市議ら

尾村利成県議は、大国陽介県議、たちばなふみ市議らとともに登壇し「敵基地攻撃保

有など大軍拡の発信源はアメリカであり、財界が原発推進・回帰を大合唱している。アメリカ言いなり、財界奉仕の自民党政権を転換しよう」と訴えました。

集会後、参加者は県庁前の沿道で「軍事費2倍化ゆるさない」「新たな戦前にはさせない」などのプラカードを掲げて、道行く通行人や観光客などにスタンディングアピールで訴えました。



スタンディングアピールするメーデー参加者



訴える尾村県議、たちばな市議、岩田地区委員長

訴える尾村県議、たちばな市議、岩田地区委員長は「憲法9条の完全実施をめざすことを綱領に掲げている」と紹介。統一地方選挙でも暮らしが大変との声が多く寄せられたとし「憲法が暮らしに生かされ、人権を大切にすると、平和でジェンダー平等の社会を皆さんと一緒につくっていきたい」と訴えました。

日本国憲法が施行されて76周年の3日、日本共産党の尾村利成島根県議、たちばなふみ松江市議、岩田剛東地区委員長は大型商業施設前で憲法を守り生かす決意を述べました。

有と大軍拡は歴代政権が建前としてきた「専守防衛」の原則を投げ捨てる憲法違反の暴挙だと厳しく批判。「『戦争はしない』『軍隊は持たない』と誓った世界に誇る憲法9条を守り抜き、政治に生かそう」と呼びかけました。

憲法施行から七十六年 党議員団がまちかどからアピール